

1 沿革

1 高知書籍館時代

明治12年 8月 高知公園内懐徳館に高知書籍館（しょじゃくかん）を設置する。本図書館の始まりである。（蔵書点数35,186点）

2 高知図書館時代

明治21年10月 書籍館を高知教育会に寄託し、高知図書館と改称する。

29年 5月 高知市丸ノ内（現高知城ホール）に高知図書館が新築され、懐徳館から移転する。

3 高知県立図書館時代

大正 5年 3月 高知市丸ノ内 6番地に高知県立図書館が落成する。
大正天皇御即位の記念事業である。

6年 4月 巡回文庫を開設する。

5月 図書の外貸出しを開始する。

9月 『土佐史談』第1号を発行する。

15年 4月 高知県立図書館報第1号を発行する。

昭和 5年 2月 開設50周年記念式典を挙げる。

9年 2月 文部省から高知県中央図書館の指定を受ける。

13年 8月 夏季大衆講座を開設する。

14年 11月 国民精神総動員文庫を開設する。

15年 4月 産報文庫を開設する。

20年 7月 戦災のため館舎は焼失し、疎開寸前の蔵書13万点は灰燼に帰する。

21年 1月 山内家より山内文庫の寄贈を受ける。

8月 海南中学校（現高知小津高等学校）で臨時開館する。

23年 7月 全国初の自動車文庫を開設する。

25年 6月 高知市丸ノ内 3番地に新館落成、開館式を行う。

26年 8月 子ども図書館学校が始まる。

28年 6月 古文書研究会が始まる。

7月 日米センター増築開館する。

30年 4月 開架式閲覧方式を始める。

32年 3月 長宗我部地検帳の出版を始める。（全19点、昭和40年3月完了）

36年 4月 『土佐史談』通巻100号記念誌を刊行する。

特許公報類分類整理事業を始める。

37年 4月 維新志士百年祭を行う。

9月 農業文庫を県下の農業指導所に置く。

38年 4月 「親子ひととき読書運動」を始める。

11月 土佐史談会が高知県文化賞を受ける。

40年 4月 へき地学校巡回文庫を開設する。

41年 1月 長宗我部地検帳の出版に対して、高知県出版文化特別賞を受ける。

43年 10月 第1回高知県図書館大会を開催する。

自動車文庫20周年記念表彰式を行う。

45年 3月 農業文庫を本庁（農林部）へ移管する。

46年 4月 走るこども図書館（自動車文庫）を開設する。

昭和47年 4月	新館建設のため塩見文庫へ一時移転する。
8月	古文書研究会400回記念事業を行う。
48年 4月	新館にそなえて、2課5係制に機構改革を行う。
6月	古文書等緊急調査事業（川北文書）を昭和48年度文化庁補助事業により実施する。
8月	新館落成式を挙げる。 図書の貸出しをブラウン方式に変更する。 子ども読書センターが発足する。
10月	全国図書館大会を高知市で開催する。
12月	『皆山集』の出版を始める。（全10巻、昭和53年3月完了）
49年 3月	高知県公立図書館長会が発足する。
10月	四国地区読書普及活動研究集会を高知市で開催する。 古文書等緊急調査事業（川北文書）を昭和49年度文化庁補助事業により実施する。
50年 1月	四国地区児童図書館員研修会を高知市で開催する。
4月	図書館法公布25周年（図書館記念日）を記念して植樹を行う。
7月	昭和50年度全国移動図書館研究集会を高知市で開催する。
12月	身体障害者利用のための施設改造を行う。
51年 1月	県下郷土資料総合目録の出版に対して、第20回高知県出版文化賞を受ける。
52年 4月	館長の下に次長制を敷く。
6月	高知県立図書館報（『とさみずき』）を復刊する。
53年 4月	対面朗読を開始する。
54年 1月	第10回高知県図書館大会を室戸市で開催する。
2月	『皆山集』の出版に対して、第23回高知県出版文化賞を受ける。
11月	開館100周年記念行事として、功績者及び寄贈者に表彰状及び感謝状を贈呈するとともに、貴重蔵書特別展を開催する。
55年 3月	対面朗読室を改造し、視力障害者の誘導路を設置する。
56年 9月	四国ブロック図書館職員実務講習会を高知市で開催する。
11月	昭和56年度全国公共図書館奉仕部門研究集会を高知市で開催する。
57年 1月	『憲章簿』の出版を始める。（全7巻、昭和61年12月完了）
59年 5月	高鴨文庫を開設する。
12月	四国ブロック図書館職員研修会を高知市で開催する。
62年12月	第16回全国移動図書館研究集会を高知市で開催する。
63年10月	昭和63年度中国四国地区県立及び政令市立図書館長会議を高知市で開催する。
平成元年10月	第20回高知県図書館大会記念講演会を高知市で開催する。
平成2年 4月	工業所有権広報類地方閲覧所を高知県工業技術センターに移管する。
6月	『南路志』の出版を始める。（全10巻、平成9年度完了）
5年 3月	高知県教育委員会が高知県社会教育委員会に対して「今後の県立図書館の整備・運営のあり方について」を諮問する。
6年 3月	高知県社会教育委員会が、同上の諮問に対する答申を行う。
11月	日曜開館を開始する。
7年 3月	「新高知県立図書館整備構想」を高知県教育委員会が発表する。
8年 1月	平成7年度中国・四国地区公共図書館研究協議会並びに平成7年度中国四国地区県立及び政令市立図書館長会議を高知市で開催する。 『土佐史談』通巻200号記念誌を刊行する。
9月	資料の書誌情報のデータ化作業を開始する。

平成8年11月	第28回児童に対する図書館奉仕全国研究集会並びに平成8年度日本図書館協会公共図書館部会児童図書館分科会委員会を高知市で開催する。
9年9月	子ども読書室の開館時間を午前9時から午後5時までとする。
10年2月	『南路志』全10巻の出版に対して、第42回高知県出版文化賞特別賞を受ける。
12月	『土佐國群書類従』の出版を始める。(全13巻、平成22年完了)
11年1月	衛星通信を利用した教育情報通信ネットワークシステムの受信設備を文部省事業により整備する。
3月	北側玄関の自動ドア化と車いす進入斜路の拡幅を行う。
12年1月	1階に移動式書架を設置する。 図書館情報システム導入準備等のため、3月末まで長期休館する。
4月	図書館情報システムの運用を開始する。 館内組織を総務課、資料課、利用サービス課、普及協力課の4課制に改正する。
7月	ホームページを開設する。
12月	1階に移動式書架を追加設置する。
13年4月	国立国会図書館総合目録ネットワークに参加する。
12月	「屋上防水等改修工事」完成する。
14年2月	「照明設備改修工事第1期」が完成する。
3月	図書館情報ネットワークシステムを設置する。
15年2月	「照明設備改修工事第2期」が完成する。
8月	「塩見文庫」の公開を始める。
10月	「クーリングタワー取替工事」が完成する。
16年2月	「照明設備改修工事第3期」が完成する。 高知県視聴覚ライブラリーを高知市大原町の高知県教育センター分館へ移転する。
17年4月	資料課を情報資料課に名称変更する。
18年4月	2階西閲覧室をジョブ・コーナーとして整備する。
19年4月	総務課を廃止し、4課制から3グループ制に改正する。(情報資料課を情報資料グループ、利用サービス課を利用サービスグループ、普及協力課を普及協力グループに改正) IT環境の充実のため、公衆無線LANを2階ジョブ・コーナーに設置する。
5月	高知大学総合情報センター(図書館)と相互協力に関する協定を締結する。
20年1月	移動図書館バスの車体への広告主の募集を開始する。
3月	図書館情報システムを更新する。
4月	館内組織をグループ制からチーフ制に改正する。(支援協力担当チーフ、情報資料担当チーフ、利用サービス担当チーフを置く。) 広告掲載の移動図書館バスの運行を開始する。 宅配貸出(障がい者)サービスを開始する。
7月	高知県モラロジー協議会青年クラブ連絡会から児童書39点の寄贈を受ける。
9月	山本貴金属地金株式会社の寄附により、プログラミングやウェブ・デザインの図書を中心とした「ヤマキン・ライブラリー」を2階ジョブ・コーナー内に開設する。
21年3月	国際ソロプチミストよさこい高知から児童書130点の寄贈を受ける。
4月	坂本龍馬研究者・作家であった故宮地佐一郎氏の旧蔵書を収めた「宮地佐一郎文庫」を公開する。 移動図書館バス運行を委託する。
8月	「高知県の図書館行政のあり方」を提言する。

平成21年10月	高知県モラロジー協議会青年クラブ連絡会より児童図書161点の寄贈を受ける。
12月	山本貴金属地金株式会社のふるさと寄附金により、「ヤマキン・ライブラリー」の図書を405点購入する。
22年 3月	高知新聞データベースを導入する。 1階書庫（No.8）を移動式書架に改修する。 玄関前を修繕し、駐輪場を設置する。
12月	高知工科大学附属情報図書館と相互協力に関する協定を締結する。 山本貴金属地金株式会社のふるさと寄附金により、「ヤマキン・ライブラリー」の図書を350点購入する。 子育て支援図書セットの県内市町村図書館等への貸出しを開始する。
23年 1月	子ども読書室に子育て支援図書コーナーを設置する。
3月	新図書館（高知県立図書館、高知市民図書館本館）基本構想が、高知県教育委員会において決定される。
4月	利用サービス担当チーフ及び司書1名が、新図書館整備課の兼務職員となる。 サピエ図書館会員となる。
6月	旧大柝高等学校（香美市）に外部書庫を設ける。
7月	新図書館等複合施設整備基本計画が、高知県教育委員会において策定される。 高知学園短期大学図書館と相互協力に関する協定を締結する。 倉庫3に空調設備を設け、マイクロフィルムを移転、保管する。
12月	山本貴金属地金株式会社のふるさと寄附金により、「ヤマキン・ライブラリー」の図書を467点購入する。
24年 2月	『土佐國群書類従』全13巻の出版に対して、第56回高知県出版文化賞特別賞を受ける。
3月	『土佐國群書類従拾遺』の出版を始める。（全7巻、平成30年度完了予定） 新図書館等複合施設の基本設計が完了する。 高知県立大学総合情報センターと相互協力に関する協定を締結する。 高知短期大学総合情報センターと相互協力に関する協定を締結する。 高知県国際交流協会と相互協力に関する協定を締結する。
10月	農業データベース「ルーラル電子図書館」の利用を開始する。
12月	山本貴金属地金株式会社のふるさと寄附金により、「ヤマキン・ライブラリー」の図書を425点購入する。 新図書館情報システム等の基本設計が完了する。
25年 5月	毎日新聞記事データベース「毎索」の提供を開始する。
7月	高知県立図書館・高知市民図書館共通利用カードの発行を開始する。
8月	新図書館等複合施設の実設計が完了する。
11月	LEDでECOになる会からの寄附金により図書を54点購入する。
12月	山本貴金属地金株式会社のふるさと寄附金により、「ヤマキン・ライブラリー」の図書を410点購入する。
26年 1月	国立国会図書館の「図書館向けデジタル資料送信サービス」の利用を開始する。
3月	LEDでECOになる会からの寄附金により図書を132点購入する。
7月	新図書館等複合施設の建築工事に着手する。
12月	山本貴金属地金株式会社のふるさと寄附金により、「ヤマキン・ライブラリー」の図書を380点購入する。
27年 4月	館内組織を改正し、司書育成・サービス推進担当専門企画員及び総務企画担当チーフを置く。

